

# 図書館だより

\*【 】内は所蔵館名

## 今月の新着本



### 「命賭け候 浮世絵宗次日月抄」

門田泰明 / 徳間書店

さる貴顕の御書司で剣の使い手だが、訳あって人気浮世絵師に身をやつす宗次の剣と涙の血風録。エンターテインメント時代小説3編を収録。【長岡】



### 「エクサバイト」

服部真澄 / 角川書店

2025年、記録媒体の小型化が進み、人間は一生で見聞する全情報を記録できるようになった。歴史が一変するような世界史事典のプロジェクトが滑りだすが…。最先端情報小説。【中央】



### 「運命の書 上、下」

ブラッド・メルツァー / 角川書店

アメリカ合衆国大統領専用車を3発の銃弾が襲った。狙撃犯は逮捕され暗殺は未遂に終わったが、その8年後…。フリーメイソンの謎や暗号を盛り込んだノンストップ・サスペンス。【中央】



### 「本棚」

ヒヨコ舎 / アスペクト

人の本棚をのぞくのは、人の頭の中をのぞくようなものかもしれない。芥川賞受賞・川上未映子、直木賞受賞・桜庭一樹、みうらじゅん、穂村弘、角田光代など15人の本棚を大公開。【葦山】

## 募集 はじめての人のための読み聞かせ講座

昨年度好評だった講座を今年も開催！「読み聞かせをしてみたいけど、どうやって読めばいいの？」と思っている人、ぜひご参加ください。読み聞かせの基本、本の選び方、実演するときの心構えなど、楽しく学ぶことができます。受講無料。

とき 6月11日(水) 18日(水) 25日(水) 10:00 ~ 12:00

ところ 中央図書館2階視聴覚室

講師 上原佐恵子氏

対象 読み聞かせに興味のある初心者の人で、3回出席できる人

定員 20人

申込み 5月13日(火)~29日(木)に中央図書館カウンターまたは電話で申し込み。

## 今月のテーマ

### こんなときこんな本 古典芸能に注目!

三浦しをんの最新小説「仏果を得ず」【葦山・長岡】は、文楽に賭ける若手太夫の青春を描いた話題の文楽小説です。ここから古典芸能の世界を覗いてみませんか？

「人形は口ほどにものを言い」赤川次郎著 文楽ファンである著者の演劇エッセイ。「織太夫夜話」竹本織太夫著 文楽の語り手である太夫が語る文楽へのいざない。「頭巾かぶって五十年」吉田義助著 人形遣い・三代義助の芸談。【すべて中央】



## 歌舞伎

「きのね」宮尾登美子著 梨園の御書司に仕え、けなげに生きた光乃の昭和史。【中央・長岡】  
「仲蔵狂乱」松井今朝子著 江戸時代実在の初代中村仲蔵の生涯を描いた小説。【葦山・長岡】  
「歌舞伎十八番」市川團十郎著 十二代團十郎が語る成田家のお家芸とその写真。【長岡】



## 問合せ

【中央図書館】電話 0558 76 5566

休館日 5月3日(土)・5日(月) 6日(火)・12日(月) 19日(月)・26日(月) 30日(金)

おはなし会 5月10日(土) 11:00 ~

【長岡図書館】電話 055 947 2364

休館日 5月3日(土)・5日(月) 6日(火)・12日(月) 19日(月)・26日(月) 30日(金)

おはなし会 5月22日(木) 14:30 ~

【葦山図書館】電話 055 949 8605

休館日 5月3日(土)・6日(火) 7日(水)・14日(水) 21日(水)・28日(水) 30日(金)

おはなし会 5月10日(土) 24日(土)

14:00 ~

問合せ 社会教育課  
電話 055 948 1461

# 文化財通信

その37 県指定文化財紹介 8

葦山多田の多田家には、県指定文化財『飲中八仙書画』(絹本彩色、江川英龍筆)が伝えられています。ご覧のとおり書と絵が対をなした作品です。

## 『飲中八仙歌』

知章が馬に騎るは船に乗るに似たり  
眼花み井に落ちて水底に眠る  
汝陽は三斗にして始めて天に朝す  
道に騎車に逢えば口に涎を流し  
恨むらくは封を移して酒泉に向わざりしを  
左相の日興万銭を費す  
飲むこと長鯨の百川を吸うが如く  
盃(杯)を衞み聖を楽しみ賢を避くと称す  
宗之は瀟洒(瀟)たる美少年  
觴を挙げ白眼にして青天を望めば  
皎として玉樹の風前に臨むが如し  
蘇晋は長齋す繡仏の前  
醉中住々逃禅を愛す  
李白は一斗詩百篇  
長安市上酒家に眠る  
天子呼び来たれども船に上らず  
自ら称す臣は是れ酒中の仙と  
張旭三盃(杯)草聖伝わる  
帽を脱ぎ頂を露す王公の前  
毫を揮って紙に落とせば雲煙の如し  
焦遂は五斗方めて卓然  
高談雄弁四筵を驚かす  
(岩波文庫『唐詩選 上』による)



書



画

## ポスターの図案募集

市民文化祭のポスター(A2版タテ)の図案を公募。6月30日(月)までに社会教育課窓口へ提出してください。

市民文化祭 参加者募集!  
芸術の部  
とき 十月四日(土) 五日(日)  
ところ 葦山時代劇場  
囲碁将棋大会  
とき 十月二十六日(日)  
ところ 大仁市民会館  
展示の部  
とき 十一月十五日(土) 十六日(日)  
ところ 長岡体育館  
芸術・展示各部門の参加申込書は市内社会教育施設(あやめ会館、葦山農村環境改善センター、大仁市民会館)で配布します。受付は七月一日(火)~十二日(土)正午まで。社会教育課窓口へ申込書を提出してください。電話やFAXでの申し込み不可。  
問合せ 市民文化祭実行委員会事務局(社会教育課内) 電話055(948)1461

酒屋で眠り込んでいるというありさまで。この詩を録した英龍の書風は、師である市河米庵(七七九~一八五八)のそれをよく受け継いでいると言われます。のびのびとして豊かな筆線は、詩の内容とも相まって、見る者の心を和ませてくれるかのようです。一方絵のほうは、八仙の様子を詩の文言に合わせて

ユーモラスに描き出しています。それぞれの酔態を示しながら、画面のあちこちに配された仙人。書と絵を見くらべつつ、どれがどの人物であるのかを考えてみるのも、面白いのではないのでしょうか。  
\*文化財保護のため、特別展示などの他は非公開

# 26 文化協会 だより